

検査の諸注意

午前中の内視鏡検査

前日の食事

- ・早朝(9時前)の検査の場合夜7時以降食事は控えてください。
- ・食事も消化の良いものにしてください。
- ・9時以降の検査の場合、前日夜9時以降食事を控えてください。
- ・糖尿病の方 胃切除後の方は前日夜6時以降の食事は控えてください。

当日の注意

- ・当日の朝食は食べません。
- ・水 日本茶 ポカリスエットなどは検査前まで飲んでも構いません
- ・血圧の薬内服中の方は早朝にコップ一杯の水で薬を服用し、その後さらにコップ1杯以上の水を飲んでください。
- ・糖尿病の薬を服用中の方は、朝の薬は服用なさらないでください。

午後からの検査の場合 (糖尿病の方、胃切除の方は午後からの検査はできません。)

当日の注意

- ・朝食は消化の良い軽い食事にしてください。
- ・血圧のお薬を服用中の方は、朝のお薬は服用して下さい。
- ・水や日本茶、ポカリスエットなどを検査前まで多めに飲んで下さい。
- ・乳製品は胃の中で固まるので摂らないようにしてください。

胃カメラ検査の案内

様

検査日 月 日
開始時刻 時 分

内服薬チェック

- 糖尿病薬 ある(内服薬) なし
抗凝固剤 ある(内服薬) なし
食道炎の薬 ある(内服薬) なし
その他の薬 ある(内服薬) なし

内服ありの場合

- () 日前から休薬
 休薬しないで内視鏡検査する。
 当日朝のみ休薬する。

催眠鎮静剤のご希望

- あり なし

★注意★

食道炎のお薬は、2週間休薬しないと内視鏡によるピロリ菌検査が行えない場合がございます。

朝に服用する血圧の薬は、原則朝食を食べずとも内服して下さい。

内服後は、コップ一杯の水を飲んでよく流し込んで下さい。

◆上部消化管内視鏡について◆

胃がんや食道がんを早い段階で見つけることができれば、内視鏡で胃や食道の粘膜を剥離することができます。この段階では症状はありません。

一方、発見が遅れると、胃の外側に癌が広がり、手術することもできなくなります。

症状が出てから見つかる癌は進行癌となっていることがほとんどです。

胃がんの99%は、ピロリ菌感染が原因です。

ピロリ菌が感染していて、胃の粘膜の炎症が強い人や、粘膜の変化が進んだ人が胃がんになりやすい人です。

ピロリ除菌治療することで、胃がんになるリスクが1/3に減少しますが癌を早期に見つける為、定期的に内視鏡検査をする必要があります。

苦しい内視鏡検査を定期的に行うのは精神的に負担です。

鼻から細いカメラを挿入する経鼻内視鏡は、口からのカメラで反射が強い方、定期的な検査が必要な方には最適な検査であります。

ヴィナシス金町内科クリニック

東京都葛飾区金町 6-2-1

ヴィナシス金町ブライトコート 2階

TEL 03-5876-9416



◆検査の進め方◆

泡けし内服

胃の中の泡を取りのぞき、胃の壁をきれいにするために、消泡剤(やや苦目の白い液体です)を飲みます

血管収縮剤プリピナ散布

鼻腔粘膜の血管を収縮させます。出血しにくくするだけでなく、鼻のとおりもよくするために行います。

麻酔

小さな注射器型の注入器で流し込む局所麻酔ですから眠くなりません。

細くて柔らかいチューブにゼリー状の麻酔薬を塗り、鼻腔に挿入します。鼻腔の痛みが抑えられ、内視鏡の通過がスムーズになります。

検査

前処置を行った側の鼻へ内視鏡を挿入します。麻酔が十分かかっていれば、違和感はあるものの、ほとんど痛みを感じることはありません。食道、十二指腸 胃 食道の順に観察していきます。内視鏡モニターを見て、自分の目でもその様子を同時に見ることができます。

検査中でも口は自由になっていますから、医師に質問もできます。

鼻出血時

経鼻内視鏡ですので鼻出血する時があります。

出血時、ガーゼを鼻孔の奥に詰め止血します。

ガーゼは1時間後にとって下さい。

検査後

約40分で水も飲めますし、食事もできます。

原則として眠くなる麻酔を注射しないので、すぐに帰宅できます。

車の運転もできます。

※ご希望により催眠鎮静剤を使用した方は、当日のお車の運転はしない様、お願い致します。

